

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ジミー		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 23日		～ R8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	R8年 1月 22日		～ R8年 2月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個室が多い。 活動スペースが広い。	利用者一人一人の感覚特性を踏まえ、音や人の出入りによる刺激が少ないスペースを整備し、落ち着いて活動や休息ができる環境作りを継続している。また、広さを活かして職員が近くで見守りやすい環境を整え、安全面に配慮しながら身体運動の機会を充実させている。	必要に応じてアコーディオンカーテンを活用し、それぞれ利用者様の課題や活動に合わせた空間作りをしていく。利用者の興味・関心や身体状況の変化を踏まえ、活動内容や環境設定を定期的に見直し、より参加しやすい支援となるよう改善を重ねていく。
2	卒業後の移行として、法人グループホームの入居や生活介護にスライドして利用が可能。	法人内グループホーム職員や生活介護職員と情報共有を行い、本人の特性、支援方法、配慮事項を事前に引き継ぐことで切れ目のない支援につなげている。	法人内外に問わず、支援のねらいや関わり方を共通理解できるよう情報交換を重ね、利用者一人一人に合わせた継続的な支援の充実を図っていく。
3	保護者参加型の茶話会を開催している。	保護者同士の情報交換の場として、また、事業所での支援内容や利用時のお子さまの様子や取り組みをご覧いただける機会となるよう企画している。主役となる利用児だけでなく、きょうだい一人一人にも目を向け、家庭全体を支える視点を大切にしながら交流の場としている。	茶話会の回数頻度が限られていることから、今後は季節ごとの行事にも保護者の方に参加していただけるよう検討し、交流の機会の充実を図っていく。また、テーマ設定や進行方法を工夫し、より充実した取り組みを行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流機会が不足している。	安全面や支援体制への配慮から、地域との交流を広げる機会づくりが十分に行えていないことが課題となっている。	地域行事への参加や小規模な交流活動から段階的に取り入れ、安全面に配慮しながら地域とのつながりを広げていく。
2			
3			